

第3章 バリアフリー化推進に係る理念と基本方針

3-1 理念と基本方針

荒尾市のバリアフリー化推進に向け、整合を図る必要性のある上位関連計画での位置づけや過年度 WS 等による市民意見等を踏まえて理念と基本方針を設定します。

【中心拠点としての荒尾駅周辺】

荒尾駅周辺地区は、荒尾競馬場跡地を活用した南新地土地区画整理事業を核とする再生を目指しており、立地適正化計画においても、荒尾駅周辺に高次都市機能の立地集積を図るなど、荒尾市の中心拠点の一つとして位置づけています。

都市再生整備計画では、荒尾駅周辺について、活気ある荒尾の実現に寄与する、あらか海陽スマートタウンを核とした「人幸増加」・「交流・にぎわい創出」・「利便性向上」機能を有した多世代の市民や来訪者が集まる拠点形を目標とする、滞在快適性等向上区域として位置づけています。

【荒尾駅周辺まちづくりへの期待・目標】

過年度に実施された荒尾駅周辺地区ワークショップでは、「活気がない」「荒尾駅の老朽化・バリアフリー化の必要性」など荒尾駅および周辺地区に対する問題点・課題を抽出し、将来像として「荒尾駅、あらか海陽スマートタウン、中心市街地が一体となった暮らしたいまちへ」としてとりまとめています。

このように、荒尾駅周辺地区は、安心・安全にアクセスできることに加え、荒尾市の中心拠点として人々が集い、にぎわい創出につながるまちづくりを目指した取り組みを行っていく必要があります。

以上、上位関連計画や地区ワークショップ等を踏まえ、荒尾駅周辺地区におけるバリアフリー化に向けた基本的な方向性を示す理念および基本方針を次頁のように設定します。

【上位関連計画】

【立地適正化計画】

- ・ 中心拠点内の公共交通結節点である「荒尾駅周辺」に高次都市機能の立地集積を図る

【都市再生整備計画】

(滞在快適性等向上区域)

「大目標」

- ・ 活力ある荒尾の実現に寄与するためのあらお海陽スマートタウンを核とした「人幸増加」・「交流・にぎわい創出」・「利便性向上」機能を有した多世代の市民や来訪者が集まる拠点形成

【過年度 WS】

【将来像】

- ・ 荒尾駅、あらお海陽スマートタウン、中心市街地が一体となった暮らしたいまちへ

【目標】

- ・ あらお海陽スマートタウン及び荒尾駅へのアクセス性を向上させることによる、両拠点の連携強化



理念

駅周辺の

「人幸増加」・「交流・にぎわい創出」・「利便性向上」の土台を形成

基本方針

- 中心拠点である荒尾駅を含む荒尾駅周辺地区をバリアフリー化し、だれもが安心して移動できる地区を目指す
- 荒尾駅・あらお海陽スマートタウン・中心市街地・市役所を一体として、滞在快適性、回遊性の向上を目指す

図 3-1 理念と基本方針